

### 志望動機は？

- 学生時代に勉強した法学の知識を活かしたかった。
- 法曹以外の法律に関わる仕事に就きたかった。
- 様々な分野の法制度を構築する仕事のカッコ良さに惹かれた。

### どんな受験勉強・試験対策を？

- 大学や予備校の公務員講座(国家総合職向け)を受講し、問題集を繰り返し解きました。
- 苦手な民法の論文試験対策として、司法試験用の問題集も活用しました。
- 憲法の口述試験に向けて参考書や基本書を読み込み、口頭で説明できるよう練習しました。



宮島 貴大 | 第5部第1課 (平成29年入局)

### 現在どのような仕事をしているか

課で担当している案件について、依頼に関係する資料を収集・整理し、論点メモのたたき台を作成しています。今年で入局4年目となり、案文の作成を任せていただけることも増えました。また、議員が関心を持ちそうなニュースがないか常にチェックし、新規の依頼にも備えています。

### 印象深いエピソード

パワハラ規制法案を担当した際の経験を紹介します。入局して最初に関わったこのパワハラ規制法案は、政府の働き方改革関連法案の対案として野党が提出した法案でした。パワハラ規制法案は委員会で審議され、依頼者の答弁補佐のために委員会に陪席するという貴重な経験をしました。法案は成立には至りませんでした。その翌年、内閣提出法律案としてパワハラ規制を盛り込んだ法律案が提出、成立しました。ニュースでそのことを知った私は、自分に関わった仕事が世の中を変える第一歩になったことを嬉しく思うとともに、立案した法案がたとえ成立しなかったとしても法制局の仕事の意義は変わらないことを実感しました。



加瀬 浩輝 | 第1部第1課 (平成31年入局)

### 現在どのような仕事をしているか

国会法や参議院の議院規則、憲法改正に関する立案・調査を担当しています。最近話題になっている国会のオンライン審議がこれからの課題です。採用試験関係の業務も担当しており、あなたが手に取っている採用パンフレットも当課で作成したものです！

### 学生時代にやっておくべきこと

一番大切なことは、法律科目をしっかりと学び、法的な思考力を身に付けることです。判例や通説以外の考え方も触れて柔軟な思考力と多角的な視野を養ってください。もちろんスポーツや趣味に取り組むことも大切です。時間を上手に使って多様な経験をして社会人生活に活かしてください！

### 参議院法制局の魅力・やりがい

参議院法制局の魅力は、若手職員であっても、法律案に規定する制度や仕組みの検討から条文の文言の書きぶりの検討までの法律案の作成の各段階において、自ら検討し、意見を出すことが求められることです。2年目職員である私も、議員の問題意識を踏まえた上で関連する現行の



大沼 健太 | 第2部第2課 (令和2年入局)

### 現在どのような仕事をしているか

現在検討中の法案について、先輩職員のサポートを受けながら書庫の文献やインターネットでの調査を基に議員にお渡しする法制的な論点をまとめた資料を作成したり、課内の議論に参加して自分なりの意見を述べたりしています。私の素朴な疑問が契機となり、議論が深まって更なる検討に繋がったこともありました。また、議員との協議には入局してすぐに同席しており、国会で働いているということを日々実感しています。

### 入局前のイメージと違っていたところ・驚いたこと

一つの法案の作成に当たってこんなに多くのことを調べるのかと驚きました。議員立法の立案と聞くと、何か新しいものを作り出すというイメージが強いかと思います。もちろんそのようなクリエイティブな側面も大きいのですが、その前提には現行制度の理解が不可欠であり、立法例の調査も必要であることを入局後に思い知りました。

### 学生時代の経験で、職務に活かしていること

論文を書く際に法制審議会の資料や議事録を参照し、図書館で文献を収集するなどの調査を

### 参議院法制局の印象

参議院法制局は3、4人で一つの課を担当しています。各人が黙々と作業するだけでなく、課で議論して意見を出し合うことも多く、課で一体となって仕事に取り組むことが特徴です。入局1年目から即戦力として積極的に課の議論に参加し、発言や意見を求められます。前提知識の確認、資料の読み込み・検討など、事前の準備は大変で、また、少数精鋭のため一人一人に求められる作業も多いですが、その分、仕事のやりがいも大きいです。

### オフの過ごし方

旅行に出かけたり、好きな映画やドラマを観てリフレッシュしています。



### 受験生へのメッセージ

参議院法制局のパンフレットを偶然手に取ったことがきっかけで、当局について当時何も知らなかった私がここで働いています。このパンフレットを手に取ったあなたにも素敵な御縁がありますように。

法制度を理解し、その問題意識の解決方法を探ったり、他の法律との整合性に気を配りつつ条文の書きぶりを検討したりしています。自分で考え出したことが法律案の内容になると、社会に影響を与えたという強いやりがいを感じることができます。

### オフの過ごし方

週末は、自然豊かなところに旅行に行ったり、地方にいる大学時代の友人に会いに行ったりしています。閉会中は少し仕事が落ち着くので長めの休みを取って海外旅行に行きました。



### 受験生へのメッセージ

参議院法制局は、他省庁に比べると採用人数も少なく、採用されるかどうか不安に思うこともあると思います。私もそうでした。しかし、参議院法制局で働きたいという素直な自分の思いをしっかりと面接で伝えることができれば、私のように採用につながると思います。就職活動では様々な不安があるかと思いますが、自分の可能性を否定せず、やりたい仕事に就くために自信を持って就職活動に臨んでください！

行ったことです。実際の立案作業ではかなりの量の調査を行うことになるため、学生時代の経験が直接職務に活かしていると思います。また、六法を引きながら勉強する習慣がついていたため、条文を読むことに抵抗がなかったことも大きかったです。

### 職場の雰囲気

一言で言えば「メリハリ」のある職場だと思います。普段はとても和やかな雰囲気ですが、課内で議論を行ったり、各自で調査・検討を行ったりするときには集中して仕事を行う職場だと思います。また、少人数の職場であるため、年次を問わず全員で議論を行う自由闊達な雰囲気があり、1年目の私でも発言しやすいと感じています。

### 受験生へのメッセージ

当局の役割は、議員立法を立案することはもとより、議員からの依頼に応じて現行法の課題に関するレファレンスに対応するなど立法府において法制面から議員を全面的にサポートすることです。その意味で、当局は、現行法を前提として働く法曹とは一味違った「未来の法制度を創造する法律家」として働くことができる珍しい職場だと思います。パンフレットを手に取った皆さんが、当局に興味を持っていただければ幸いです。

## 若手職員の1日



9:00 | 登庁

9:50 | 理事会対応

委員会の理事会を傍聴。当日の委員会の流れやA法案の今後の審議スケジュール等を聞き取り、課に戻って課内と部長に報告します。その後、A法案に対する修正案の立案に備えて、論点について課内で議論しました。



12:00 | 昼食

先輩職員と議員食堂でランチ。名物の国会カレーを食べながら、プライベートな話題で盛り上がりました。

13:30 | 議員との協議

X議員の秘書から連絡があり、課長に同行して議員会館へ。X議員から、今後政府から提出予定のB法改正案に対する対案作成の依頼を受けました。依頼の趣旨を聞き漏らさないようにメモを取りながら話を伺います。



15:00 | たたき台の作成

依頼を受けた対案作成のため、課長の指示で論点メモの作成に着手。分からないところは先輩職員に質問しながら、書庫で現行のB法の解釈について調べたり、政府案の検討過程でなされた議論をインターネットで調べたりして、たたき台を作成します。



18:15 | 退庁

いつもより早めに退庁できたので、前からずっと気になっていた映画を見てから帰宅。

